



▲灯籠の灯りを見つめる子どもたち

四ツ谷・佐々江集落で組織する元気ねっと！五ヶ荘と立命館大学河村ゼミがふるさと共栄活動の一環として、旧五ヶ荘小学校の校庭を利用して五ヶ荘キャンドルナイトを開催。校庭には市内の小学生がデザインした822個の竹灯籠にあかりが灯され、自分の灯籠を探す多くの子どもたちでにぎわいました。また、イルミネーションが施されたイチヨウの木の下では、地元住民と立命館大生らによるバイオリン・ピアノ演奏が行われたほか、ゆず茶とぜんざいなどが販売され、参加者は冷えた体を温めながら、灯りのイベントを楽しみました。

12/25 五ヶ荘キャンドルナイト822

「思い出の学び舎灯す灯籠と人の輪」

園部幼稚園の5歳児78人が3グループに分かれて囲碁、茶道、筆遊びに取り組んでいます。昨年までのふれあいデーは祖父母や両親との活動でしたが、今年度は囲碁クラブの会員や茶道・書道の先生など地域のプロフェッショナルに講師を依頼。地域の方とのふれあいや本物に触れる体験の場となっています。この日、茶道グループはお菓子とお茶でお点前体験。抹茶を口にしたりは、苦い表情を浮かべつつも「おいしい」と飲み干していました。



▲行儀良くお茶をいただく園児たち

1/20 園部幼稚園ふれあいデー

「お点前ちようだいいたします」

「美山の鹿肉バーグおいしいグー」

2/17 大野小学校交流給食



▲藤原さん(右から1人目)と一緒に給食を食べる児童ら

「近畿地産地消給食等メニューコンテスト」で、美山学校給食共同調理場の「森の恵みのハンバーグ」が近畿農政局長賞を受賞しました。ハンバーグは、美山で捕れた鹿肉を使用し、独特のにおいや堅さを無くするため試作改良を重ね、収穫体験など生産者との交流をとおして食育に取り組む活動も評価されました。受賞後初めて給食に登場したこの日、大野小学校では鹿肉を提供する藤原啓さんとの交流給食を開催。鹿肉のから揚げや鹿汁など子どもたちが考えた給食に出てほしいメニューを発表しました。

「南丹市のイクメンが集合パパすごい」

2/6 育児パパ応援講座

材木を切り、かんなや紙やすりで角をとり、電熱ペンでかわいい絵などを書いて積み木を作る「育児パパ応援講座」を1月30日から2月13日にかけて、市内3会場で開きました。イクメンとは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する、育児を積極的に行う男性のこと。2月6日は、7組のイクメンと子どもが日吉町生涯学習センターに集合。NPO法人京都匠塾の指導で、親子が一緒に工夫を凝らし、木の温もりを感じる積み木ができあがりしました。最終回は3月19日に美山で行います。



▲手作りのおもちゃは子どもの宝物になるはず